横浜天声キリスト教会　週報　第15巻24号（No.540）　2020年6月14日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　申命記 11:11-12 ……御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ……　172番　雨をふりそそぎ
*交読文 ……　35番
*使徒信条 ……会衆一同
*頌栄 ……　179番　良き知らせを
礼拝のための祈り ……成田エクレシア：朴執事　天声：小林 伝道師
賛美 ……　382番　約束の地を
メッセージ ……時代の支配者・先駆者となって行くために(ヨシュア記 1:1-9)
御言葉を適用する祈り ‥ 会衆一同
賛美 ……　221番　カナンの聖なる地に
献金感謝の祈り ……パスター
報告 ……次週午後は成田との合同礼拝となり、横浜での英語礼拝はありません
*主の祈り ……会衆一同
*祝祷 ……パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

今____と、すべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしが____に与える地に行きなさい。____が、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、____に与えるであろう。____の領域は、荒野からレバノンに及び、また大川ユフラテからヘテびとの全地にわたり、日の入る方の大海に達するであろう。____が生きながらえる日の間、____に当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、____と共におるであろう。わたしは____を見放すことも、見捨てることもしない。強く、また雄々しくあれ。____はこの民に、わたしが彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならない。ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセが____に命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべて____が行くところで、勝利を得るためである。この律法の書を____の口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。
そうするならば、____の道は栄え、____は勝利を得るであろう。わたしは____に命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。____がどこへ行くにも、____の神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」。（ヨシュア記 1:2−9）

メッセージ概要

世界は、新しい時代に突入している。自動化やAI化が進み、今まであった仕事がどんどんコンピュータに奪われつつあるこの時代、今までの固定概念に安住し続けて、それ以上の事をしないなら、どんどん他人やコンピュータに主導権を奪われ、ただ、与えられた仕事しか出来ない奴隷のような人生になってしまう。このような時代でも主にあって主導権を勝ち取り、支配者となるため、今回はヨシュア記から恵みを得たい。

ヨシュア記は、今までの偉大な指導者モーセが死んで、まさに新しい時代に突入した時点から始まる。
『*今あなたと、このすべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしがイスラエルの人々に与える地に行きなさい。*』(ヨシュア記 1:2)　まず、一番先に超えなくてはならない境界は、ヨルダン川である。
それまでは、ヨシュアも、イスラエルの民も、モーセ抜きで主体的に動いた事はなかった。ヨルダンのこちら側には、既に、ある程度の良い領土を勝ち取っていた。わざわざヨルダン川を超えて、父の代が恐れ尻込みして入って行けかった、あのカナンの地へと入っていくには、未知の恐怖や躊躇はあったかもしれない。
しかし、主が「行って、獲なさい」と言われた領域は、ヨルダン川のこちら側にとどまらず、ヘテ人の全土や大河ユーフラテス、および、日の入る大海に至るまで、という、遥かに広大で、豊潤な地だった。(4節)
今、私達も同じチャレンジを受けている。今、私達はそこそこ快適な暮らしが与えられているかもしれない。そこに満足して「何でわざわざ未知の領域へ踏み出さなくてはならないのか？」と思っていないだろうか？私達は今、聖書に書かれてある全部の、どれくらいを経験しているだろうか？約束された祝福の、どのくらいを勝ち得ただろうか。約束の聖霊をいただいているだろうか。癒しやしるし、奇跡を体験しているだろうか。イエス様のわざを、どのくらい行っているだろうか？もし得ていないなら、私達も勝ち取って行くべきである。
主はヨシュアに保証を与えられた。「*あなた方が、足の裏で踏む所は皆、わたしがモーセに約束したように、あなた方に与える*」(3節)　足の裏で踏む所が自分のものとなる約束は、自分の目や判断で進もうとする、生来の性質と決別し、ただ主の約束に従って歩む事を示した時に与えられる。信仰の父・アブラハムに「足で踏みゆく所はことごとく与える」と約束が与えられたのは、そのようなロトと決別した直後だった。ヨシュアにこの約束が与えられたのも、神の約束を退けた不従順な世代が、皆、死に絶えた後だった。
主から言われた通り、彼らがヨルダン川の前まで来た時、契約の箱をかつぐ祭司達が水を湛えている川に、一歩足を踏み入れた時、川は堰き止められ、祭司達は契約の箱をかつぎながら、川底に留まり続けた。それを見たイスラエルの民は、安心して、せき止められた川を渡る事ができた(3章)。私達も、私達の子供や、信仰の後続達の牽引役になるために、この祭司達にならい、「現代の契約の箱」を担いで行くのだ。
現代の契約の箱とは、「旧契約聖書」と、「新契約聖書」、この契約の書に書かれてある内容を信じ、行い、その内容を担いだ人生を歩んで行くのだ。契約の箱の中には、①御言葉が記された石の板と、②マナが入った金の壷と、③芽をふいたアロンの杖があった。私達も①御言葉そのものと、②神がいのちを養って下さる約束と、そして、③死からいのちへの復活のしるし・永遠の祭司のしるしを握りしめて行くのである。それらを担いで進み行くなら、たとえ死の川が横たわっていても、それを踏みつけ、進み行く事が出来る。

『*あなたはこの民に、わたしが彼らに与えるとその先祖達に誓った地を獲させなければならない*』(5-6節)
私達も、主が約束して下さった地を、子々孫々へと継がせなくてはならない。主が与えると約束して下さった地は、申命記11章に記されている素晴らしい地である。すなわち、そこは自分で種を蒔いたり、自分の力で水をやらなければならない地ではなく、山と谷の地で、天の雨で潤っている。そこは主が求められる地で、年の初めから年の終わりまで、主が絶えずその上に目を留めておられる(申命記 11:11-12)。
そのような素晴らしい地が与えられるのは、御言葉を昼も夜も口ずさむテフィリン世代にのみ、である。なぜなら申命記の続く13節以降にそのように書いてあるし、またヨシュア記も以下のように続くからである。
『*この律法の書をあなたの口から離す事なく、昼も夜もそれを思い、その内に記されている事を、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得る*であろう。』(8節)
この困難な時代、勝利者・支配者の側になるため必要な事は、自分の目や判断で進む生来の性質と決別し、御言葉を昼も夜も口ずさみ、神の約束をしっかり握りしめる「テフィリン世代」となる事だ。世の固定概念に縛られず、大胆に御言葉を実行し、大胆に支配権を獲得し、多くを得ていく皆さんでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 24 号　　2020 年 6 月 14 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube